

# 馬の耳

どんな良い話を聞いても、何も行動しなかった私が「馬」ではなく「人間」である証明をする為、勉強会等で学んだことをまとめ、この「馬の耳」を作ることにしました。お世話になっている皆様のために、少しでもお役に立てればと思います。



発行日 2015年12月1日

発行元 (有)沼津電話工事

スマイルワン

小野博文

〒410-0022 静岡県沼津市大岡3916-8

055-921-1551 tel

055-922-1144 fax

<http://www.net-ndk.co.jp/>

[ono@net-ndk.co.jp](mailto:ono@net-ndk.co.jp)

## 【高い買い物？】

10月31日、東京の原宿で甥の結婚式がありました。ご存知の通り、その日は“ハロウィン”でして、普段でもごった返している渋谷・原宿なのに、当日はヘンテコリンな格好をした人たちで、とんでもない事になっていまして…

日本人が「おかしな事になっちゃっていないか？」  
「大丈夫か？」と心配する私は、時代遅れの人間なんではないか？？ まあ、そんな私も“おのちゃんマン”の格好をするんですが… (汗)

それはさておき、今回の結婚式には、うちの母も列席することになっていまして、膝の痛みがある母のために、車で東京へ向かいました。

それでも、駐車場から会場までは、少し歩くことになり、母は、持参した「杖」をつきながら会場に向かいました。

途中、“若者の街 原宿”なのに「杖」を展示してあるお店を見つけ、母はその「杖」を眺め始めました。「え？ 杖、持ってんじゃない！」しかも、値段を見てビックリ。どれも数万円と書いてあるんです。

私が、「そんなの見てないで、早く行こうよ！」と言おうとしたその時…

「この『杖』下さい！」と母。 って (はあ～?)  
“びっくりぼん”ですよ。開いた口が塞がりません。「杖」なんて、極端なことを言ったら、100円ショップにだって、売っているんですよ。しかも今も、そこそこいいヤツ、持ってるし！

結局、ビンボーなくせに、私の反対を押し切り、その「高額な杖」は母のものになりました。(汗)

ただ、その「杖」を嬉しそうに眺める母を見て、母はただの「杖」を買ったのではなく、“孫の結婚式の日に、原宿で「杖」を買った”という「思い出」も一緒に買ったんだと、後で気づきました。

結局、“良い買い物”とは、モノを買うだけでなく、「思い出」も一緒に買うってことですね。数万円の「杖」も、もしかしたら100円ショップの「杖」より“安い買い物”だったのかもしれない。

## 【HETA-UMA】

相田みつをさんの“書”って、スツと心に入ってくる感じがありますよね！ 簡単で真似できそうだけど、なかなか難しい、不思議な存在感を持った“書”です。日本には、「小奇麗で整ったものを尊ぶ美学」もありますが、その逆に「未完成を良しとする美学」もどうやら存在するようです。

サブカルチャー界から見る芸術の世界には、「上手い (ウマウマ)」と「下手 (ヘタヘタ)」、そしてその間に“ウマヘタ”と“ヘタウマ”があるんだそうです。

定義を簡単に説明しますと。

① ウマウマ：技術的に優れていて (ウマ)、見る人に何か伝わる (ウマ)

② ウマヘタ：技術的には優れているのに (ウマ)、まったく相手に伝わらない (ヘタ)

③ ヘタウマ：技術的にはイマイチだけど (ヘタ)、何か見る人を惹きつける (ウマ)

④ ヘタヘタ：技術的に劣っていて (ヘタ)、相手に伝わりにくい (ヘタ)

オリジナリティを尊重するサブカル的視点から順番を付けると、③ヘタウマ → ④ヘタヘタ → ①ウマウマ → ②ウマヘタになるそうです。

“ヘタウマ”の「書」って、きっと普通の書道の先生が見たら「なんだこりゃ？」って思って、朱筆を入れられるんでしょうけど、その「なんだこりゃ？」にパワーが秘められているんですね。

非対称、未完成、そしてヘタを面白がったり、ポンコツを応援する等、日本にはそういう精神文化があるようです。

ところで皆さんは、ご存知ないかもしれませんが、実は「馬の耳のお言葉」も“ヘタウマ”なんですよ、ある意味、芸術作品なんです！ (笑)

そんな芸術作品が「お馬様のお言葉日めくりⅡ」として、発売されました。笑いは副作用のない“お言葉”です。この日めくりをめくって毎日“クスリ”と笑って下さい。「不良長寿」間違いなし！！

## 沼津経営塾開催日

12月3日(木)沼津市民文化センター第四会議室 PM7:00より

## おのちゃんマン活動日

12月20日(日)沼津ラクーンよしもと劇場様 PM5:00より

12月23日(祝)わかちあい山宮様

11月24日(木)富士東小学校様

## 【iPhoneで脳梗塞を早期発見?!】

慶應義塾大学医学部の研究チームは、iPhoneやApple Watchのセンサーを活用した臨床研究を国内で初めて開始しました。専用アプリを通じて心拍数や運動能力などを測定し、不整脈・脳梗塞の早期発見につなげるというものです。iPhoneユーザーであれば、誰でも匿名で、しかも無料で参加できるそうです。



お馬様の  
今月のお言葉

洗心堂書

